

レジメン名

Ph陰性ALL維持療法③ (under25)

出典 JALSG ALL202

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

Ph陰性ALL(15歳以上25歳未満)
進行・再発
補助療法(術前・術後)
初発

投与減量の基準

その他	6MPIは、白血球数が2,000 - 3,000/ μ lになるように投与量を調整する。維持開始時WBC<2,000/ μ lであれば半量で開始。2週後 \geq 2,000/ μ lで規定量、2週連続 \geq 3,000/ μ lで25%増、<2,000/ μ lで半量とする。アロプリノール使用時は半量に減量する		

投与中止の基準

ANC	500/mm3未満	PLT	5万/mm3未満
その他			

1クール期間 42日

総クール数 3.7.11.15
コース

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
メトトレキサート(メソトレキサート)	150mg/m2	輸液100mL	1時間	d1、15、29
6-メルカプトプリン(ロイケリン)	50mg/m2	経口		d1-28
メトトレキサート(メソトレキサート)	12mg/body	髄注		d29※
ヒドロコルチゾン(ソルコーテフ)	25mg/body	髄注		d29※
シタラビン(キロサイド)	30mg/body	髄注		d29※
※頭蓋照射を行わない症例では、髄注は1サイクル目と2サイクル目に施行し、3サイクル目、4サイクル目は行わない。 頭蓋照射施行例は照射終了後の髄注は行わない。				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 凍解液まで含む)
day1、15、29 ①グラニセトロン3mg/バッグ(30min) ②メソトレキサート150mg/m2+輸液100mL(1hr) ③生食50mL(フラッシュ)
d29 ①メソトレキサート12mg+生食2-6mL(髄注) ②キロサイド30mg(髄注) ③ソルコーテフ25mg(髄注)
<内服> d1-28 ロイケリン50mg/m2内服 分1眠前